

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2014年4月30日】

団体名 社会福祉法人 生活クラブ

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

児童の生活環境整備・運営/業務環境向上事業

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

自立援助ホームの運営費は、措置費に頼るところが大きいため、生活環境の整備、運営に必要な備品の購入、スタッフの研修への参加などが後回しとなります。入寮する子ども達に対しての支援のありかたの研修への参加や、入退寮する児童については、最低限の荷物しか準備できないこともあるため、生活を送るための日用品や衣服、布団の購入などの購入ができればと考えています。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

通常一人での宿直勤務のため、経験が少ないスタッフも一人での宿直を行う必要があるため、いろいろな研修に参加することで、他の自立援助ホームのやり方等を参考にすることで、スタッフの一人一人の知識や質を向上させるために研修への参加を積極的に行ってきた。全国大会や女性研修会、スタッフ研修会等に参加し、ほかのスタッフと情報を共有することでより安心、安全なホームでの生活を子ども達に提供できるように心がけていきます。また、ニュースレターの発行も行い支援者の方の協力を得られている。今後はより短期間での発行ができるよう努力していきたいと考えている。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

ホーム内のリフォームを行い、節電対策や足元灯の設置などの防災対策をすすめることができた。万が一の場合にそなえ今後も改善等が必要な箇所があれば継続的に回収を行っていく予定である。

ニュースレターの発行についてはスタッフそれぞれの意見をはじめよりホーム内の様子をわかってもらい、継続した支援に繋がればと考えている。お米の寄付を始め日用品の寄付なども頂くことができ、子どもたちも支援していただける方がいることを感じながら生活をおくれていると感じている。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

昨年と同じく全国大会への参加、また女性スタッフ研修会などの遠隔地での研修に参加をすることができることで、日々子ども達と関わりを持ちながら、どう対処したらよいかわからない悶々とした場面での対応等、ほかの自立援助ホームのスタッフとの交流を行うことで参考にできることも多く、お互いに励まし合うことができるなどこれから子ども達と関わる上での大きな力になっている。まだまだわからないことも多く、より良い支援につなげるためには継続した勉強が必要ではあるが、スタッフ一人ひとりの知識と経験を合わせ子ども達に関わっていきたく思います。合わせて支援していただける方のご協力をいただきながら今後もスタッフ一同努力していきたいと思っております。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし